

みみの記念日：3月3日耳の日 6月6日補聴器の日 9月9日人工内耳の日

## 東北・熊本大震災から学ぶ

＜シリーズで考える5＞

### 佐賀平野北縁断層帯

平成 25 年 2 月に発表

9月1日は防災の日です。熊本では8月31日震度5弱、9月に入っても震度3、4の余震がなお続いています。

佐賀県はこれまで地震が最もない県とよく言われてきましたが、すでに想定されていた川久保断層系マグニチュード6.8Mに加えて、平成25年2月1日に佐賀平野北縁断層帯（武雄市北方町～佐賀市、北部バイパス北～みやき町）地表22km、地下38kmが国の地震調査研究推進本部の長期評価として発表されました。想定される地震規模は阪神・淡路大震災を上回るマグニチュード7.5程度と大きいものです。

#### 日向峠～小笠木峠断層帯



人工地震やボーリング調査、堀削調査の結果から、3万年前から少なくとも2回は地震を起こしてきたとみられる。また、脊振山系の北側の糸島市日向峠から早良にかけて、日向峠～小笠木峠断層帯があり最大マグニチュード7.2の地震の可能性があります。断層調査を行った産業技術総合研究所丸山主任研究員は「残念ながら、佐賀平野は地震の揺れに弱い。佐賀平野北縁断層の地震で、強い揺れによって古い建物が倒壊し、火災も懸念される。長崎県の雲仙断層帯が動くと、有明海で発生する津波が佐賀市で2メートルの津波に達する恐れがある。」と注意を喚起されています。

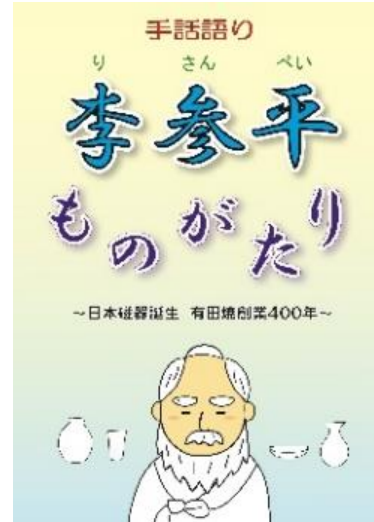
#### 佐賀市で死者2300人想定

佐賀市の被害者2300人、負傷者8100人、全壊・焼失棟3万4千棟、避難者11万5千人と想定されている。

いつ起こるかは明確にならないが、これから30年の間に震度6弱以上の確率は8.6%という数字もあり、日頃から備えられることをやっておくことが重要です。

佐賀でも阪神・淡路、熊本震災以上の地震も想定される

## 手話語りDVD完成初上映会



上映会はろう学校で、9月1日二学期の始業式にあわせて行いました。企画・取材・制作を手がけた平方由佳里さんが、作った経過やねらいを話したあと、手話語りDVDを児童・生徒と先生の約40名が視聴しました。

生徒は「有田に行った時よりも分かりやすくて良かった。」「自分も李参平のように夢を叶えるために諦めず頑張りたい。」という感想が出された。

平方さんは「聴覚障害者だけでなく、聞こえる方たちにも見てもらい、手話の魅力や聴覚障害について理解を助けたい。」と語りました。

DVDはセンターで貸出しを行っています。

## 手話パフォーマンス発表

「佐賀県高校生産業教育フェア」で嬉野高校と神埼清明高校が手話パフォーマンスを発表。パフォーマンス後の高校生の感想には、「(パフォーマンス中に)お客さんの笑顔やうなずいている姿をみると嬉しくなった。」「これまでの練習の成果をここで出すことができ嬉しい。」と達成感に満ちた生徒の感想がありました。

(8月27、28日)



嬉野高校



神埼清明高校

## 補聴器シリーズ⑥ ー補聴器の機能ー



補聴器の代表的な機能には、必要以上の音を出さないように制御する**出力制限装置**、着用者が聞き取りにくい周波数だけを増減する**音質調整器**、着用者に合わせてメーカーが事前に最適な音量を調整するための**利得調整器**があります。さらに、より快適に聞き取ることができるよう、機種によって様々な機能が搭載されています。以前の補聴器は構造も単純で、それほど多くの機能は搭載されていませんでしたが、現在の補聴器は、一人ひとりのニーズにより合った聞こえを目指しています。

**ハウリング抑制機能** シャがんだり、硬いものを噛んだり、帽子を深くかぶった時に起こりやすいハウリング（不快な音漏れやピーピー音）を防止

**指向性機能** 騒音下で正面方向からの会話を聞き取りやすくするために、後方・側面の騒音を抑制

※最近では雑音を認識するとその方向からの音を打ち消すタイプの補聴器や、周りの状況によって自動で指向性をなくしたり、強い指向性にしたりという強さを調整する補聴器も出てきている。

**騒音抑制機能** 周囲の雑音に邪魔されることなく会話を楽しむために、雑音を認識し、自動的に軽減

**突発音抑制** ドアを閉めた際の音や、食器の割れる音など、突然の大きな音が発生した際に素早く反応して気にならないレベルまで抑制

以前に補聴器を試してみたもののあまり効果を実感できなかったという方も、一度、最新の補聴器の音を試聴してみてください。 引用・参考：よくわかる補聴器選 <http://www.njha.co.jp>

## 佐賀みみサポ写真コンテストsummer

7月より展示していた写真コンテストの審査発表会を行いました。審査をお願いした北村和秀氏は「アップの写真が少なかった。写真で何をうったえたいのか明確に」と総評。人気投票では、バルーン部門が1票の僅差で勝敗を分かち、会場を盛り上げました。



世界遺産部門  
中村稔さん

審査員特別賞



バルーン部門  
香田佳子さん

## <要約筆記シリーズ④> 聞いて伝える

音声情報を文字にして、読んで伝わる文章にする要約筆記。その場で伝わるのが優先されるため、概念の再構築をして話し手の伝えたいことを素早く文字にして表します。しかし、同じ話を聞いても他の人と解釈が違うことがありますし、受け手にも同じことがいえません。見聞を広め、さまざまな知識を増やしていくことは、役立つことのひとつでしょう。

## アフターファイブ手話講座 修了式



15名が修了されました。今後学校、県庁、保育園などのそれぞれの職場で、積極的に使い周囲の方々に手話を学ぶきっかけ作りの役目を担われるよう期待します。継続的な学習をめざしステップアップ!!

## 聴覚障害者向けパソコン講座開講

9月3日から初心者向けワード、エクセル全4回の講座を開講しました。パソコンを持っていない人もセンターで用意したものを使って、それぞれのペースで学んでいきます。ワード編では案内文を作成します。エクセル編では記録表を作成します。

## 川副地区地域包括支援センター来館

8月17日（水）11名の居宅介護支援専門員が来館。日頃同じビルの5階佐賀中部広域連合に出入りされることが多いことから、センターの案内が目止まって学習会となりました。センターの見学と、「きこえの仕組み」[加齢性難聴]の学習を行い、2名が聴力測定を体験されました。



**字幕制作ボランティア養成講座** 会場：当センター

9月23日～10月28日 毎週（金）13:30～16:30（全6回）

**要約筆記者養成講座** 会場：鳥栖市社会福祉会館

10月8日～平成29年3月18日 毎週（土）10:00～15:00（全21回）

**巡回聴こえの相談**

10月19日（水）会場：神埼中央公民館 10:00～15:00

**原子力防災学習会学習会**

9月25日（日）会場：唐津市民会館 10:00～12:00

10月16日（日）会場：伊万里公民会館 10:00～12:00

## 佐賀県聴覚障害者サポートセンター

〒840-0826 佐賀市白山二丁目 1-12（佐賀商工ビル4階）

TEL：0952-40-7700 FAX：0952-40-7705

メールアドレス：info@saga-mimisapo.jp

ホームページアドレス：<http://saga-mimisapo.jp/>

<開館時間>

9:30～18:00

9:30～20:00(水曜)

<閉館日>

毎週月曜日、祝日、年末年始